

暖かい春がやってまいりました。春といえば、入学式、入職と新たな一歩が始まります。私は、今年の春で入職して三年目になり、昨年は結婚、そして今年になり、父親として新たなスタート地点に立ちました。実はというと、一月に息子が誕生したわけで、今二カ月になりました。学生の頃、産科実習があり、新生児や小児の学習、沐浴、おむつ交換や授乳の実習など、様々な経験していたので、少しは自信があったのですが、初めの一カ月は夜泣きが大変で、常に睡眠不足・・・。沐浴も、勝手が違い、泣かれる始末と悲惨でした。二カ月目に入ると、一緒に入浴や外出が楽しく、徐々に生活リズムが出来てきました。夜泣きも一、二回程度となり、最近はややすと声を出し、笑うことまで出来るようになりました。その表情がたまらなく可愛く、いつも仕事から帰るのが楽しみな毎日を送っています。

子供というのは不思議なもので、どんなに疲れていようが、帰宅し、顔を見るだけで心がすく安らぎ、疲れを忘れてしまいます。突然、真面目な話しになりますが、この安らぎや癒しは、看護にとって重要であります。男という立場ではありませんが、それを少しでも多くの患者様に感じ取っていただけるように、日々努力し頑張っていきたいと思えます。

一分間スピーチ

今回は、朝礼での職員スピーチをご紹介します



看護助手

弓指 真由美

バスを待っているとお婆さんに「あのバスは動物園行きですか。」と尋ねられたので、「いいえ違います。」と言うと、バスが来るまでずっと話しかけられた。「今日は友達の家に行った帰りで、この頃、物忘れがひどくて、今日も娘さんに怒られた。」と嘆いておられたので、「お友達の家に行かれて憂さ晴らしが出来てよかったですんじやないですか。」と言っても、物忘れがひどくなったことをすくく気にして、その事ばかり繰り返しおられた。

私の母もこの頃物忘れがひどくて、私も偶に怒ることがありますが、これからは余り怒らないようにしようと思います。

病棟看護師

内村 令子

昨年は体調不良で約一ヶ月仕事を休ませて頂きました。食欲のない中、そばだけは食べる事ができました。去年暮れにそば打ちができたらと思い、本を買って打ってみました。ゴムのようでした。叔母に教えてもらい時折打っていますが、今年はそば打ちができるようになること、体調管理をしっかりして業務にあたりたいと思います。

看護助手

若山 なるみ

現在、仕事の傍ら、福祉系大学に在籍。四月から四年生になります。最近、生涯学習がよくいわれていますが、中年に突入した私にとっては、なかなか学習は大変で、睡魔と闘いながら、夜、机に向かっていきます。来年一月には社会福祉士国家試験を受験できるよう、又、三月には無事、卒業できるよう、コツコツ頑張っていきたいと思っています。

企画室長

上山 健一

旅行業界に在籍した経験があると話す「日本の紅葉で一番良いのは何処?」との質問を受ける事があります。阿寒、日光、黒部立山、京都洛北など数々の名所があり、いずれもそれぞれの良さがある景観で楽しませてくれます。あくまでも個人的な感想ですが、青森の奥入瀬渓谷・十和田湖・秋田の八幡平を巡るコースは、溪流の爽快感、湖面に映る繊細さ、圧倒的な雄大さを楽しめるお薦めコースです。しかし、お決まりの「ごくく、紅葉シーズンは宿・交通手段が取れないし、値段も跳ね上がりますので、旅行会社のツアーを利用する方法がベストだと思えます。いずれにせよ、紅葉は自然まかせの神だのみ。日頃の行ないがものを言つかもしれませぬ。



私は先日、家族の検査予約の件で、ある大きな病院に電話をする機会がありました。その際、電話に出てくださった方は年配風の声の受付の方でした。何かしら病院に電話するというのは誰しもが不安等を感じながら連絡するもの。私もそんな気持ちで電話したところ、とても冷たい口調での返答に対し、個人病院に比べていろんな場所からかかってくると思われるのに、そんな対応で良いものかと怒りを感じました。

私達の病院は、現在、サービスマニュアルを主として、いろいろと勉強会などが開かれており、サービスに対し皆が意識し、その成果が出ていると思われ、自信を持って良いと思います。これから先、もっと良い看護サービスマニュアルをはじめ病院に来て下さった方にあたえられるよう、みんなで努力していきましょう。

看護助手

宮下 好美



私の主人は、いろいろな所のマラソンに行っていて走っています。私も休みの時は時々付き合っって応援に行きます。孫もでき、家庭もうまくいっています。これからは、自分の身体の事も考え、時間のある時は少しでも歩こうと思っています。

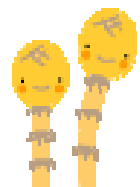
看護助手

米満 真知子

私には、二人の孫がいます。鹿屋市に四才の男の子がいます。今、ボーケンジャーが大好きで、ヒーローになりきって遊んでいます。もうひとり、下関市に女の子がいます。もうすぐ、十一ヶ月になります。今、つかまり立ちができるようになりました。まんまるく、とてもかわいいです。私はいつもこの子達から、元気とパワーをもらって、仕事をがんばっています。

看護助手

岩田 トコ子



1. 早朝ジョギングを始めました。
2. わがふるさと、奄美へ帰省し心も身体も癒してきました。奄美、最高！鹿児島を第二のふるさととしていきます。
3. 最愛の息子が結婚しました。その息子が選んだお嫁さんですので息子以上に愛していきます。

放射線技師

久保 陽介



春といえば一番最初に思い浮かぶのが桜です。お花見をして風情を満喫する日本の風習、いいですね。他に春といえば入学式、新しい出会いの季節、これからのことに期待で胸を膨らませている方も多いのではないのでしょうか。そして春といえば別れの季節でもあり、一期一会という言葉が似合います。それでは僕の卒業式のちょっとした失敗談を語りたいと思います。僕は専門学校に通っていて普段は制服で通っていました。そして、卒業式の日、それまでほとんど着たことのないスーツに身を通し、ネクタイやYシャツ、ベルトなどを確認して学校に行きました。それから卒業式式場に移動する時間になったとき、皆が靴を革靴に履き替えます。このとき初めて自分が普段靴のままだということに気づきました。一応(自分の履いている靴が)黒いから大丈夫とよくわからない励ましをして、式場に迎いました。そのときは他人の足ばかり気にしていましたが、当然の如く全員革靴で整然と統一されておりました。ちょっと落ち込みました。卒業式の思い出が靴を間違えたということしか頭にないというのはどうなのでしょう。春の陽気で足元が浮ついていました。皆様も足元には注意を。思わぬ石が転がっているかもしれないと念のため。

放射線科たより

五月一日より新しく入職しました。

平岡俊彦

(二十三歳) 鹿児島医療技術専門学校卒 O型

趣味「旅行・アウトドア」

分からない事はかりですが一生懸命頑張っていきたいです。いろいろのご指導のほどよろしくお願い致します。